



に

庭先で ひとりでお話 木と石と



歩きを始めた子が、しゃがみこんで、じゅっとじゅっと何かを見ているのかしら。そんなにじゅっと、何を見ているのかしら。大人にとっては木や石であっても、子どもにとっては「ふしぎなものがいっぱい！」で、アリを見たり、葉っぱの感触を楽しんだり……。子どもって、ほんと素敵ですね。

そんな時、大人も一緒にしゃがみこんでみましょう。子どもと同じ視線でみつめてみると、子どもの持つ、豊かな感性に共感し、いつの間にか、あなたの心に新たな窓が開くかもしれません。

ゆったりとした時の流れの中で、自然の美しさを感じ、親子で時間を共有する。これは、子どもが自分の好きなことやお

もしろいと感じたことに夢中になれる時間を、親と共有すること。この「親に共感してもらった」という思いは、自分を大切にしてもらったことから、自分らしさを培うことにもつながっていくのです。

けれど、こんな素敵な時間なのに、その時期はあっという間に過ぎ去ってしまいます。だからこそ、とことん楽しんで、子どもに付き合ってみてはどうでしょう。自分が子ども時代に見過ぎてきたことまで、もしかしたら発見できるかも！